

噴煙

第26号
阿蘇市文化協会
広報委員会
(印刷所)
つるばやし印刷

新年あけまして
おめでとうございます



阿蘇市長
佐藤 義興

阿蘇市文化協会におかれましては、会長をはじめ、会員の皆さまも輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から阿蘇市の文化芸術によるまちづくりに積極的なご支援ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

また、多くの団体・会員の皆様が一年を通じて文化芸術活動を推進され、心豊かな活力ある社会と新たな文化の創造の実現を目指し大きな力を賜っておりますことに重ねて感謝申し上げます。

阿蘇市では、現在阿蘇郡市において世界文化遺産の登録を推進しております。その活動の一環として、平成二十九年十月十三日、文化庁から

阿蘇北外輪山の草原景観が文化的景観に選定されました。これは、阿蘇の草原景観が後世に残すべき大切な文化であるとして、国に認められたということです。

私たちは悠久の歴史の中でこの大地に文明を築き、文化を育み、他の地域に自慢できる「ふるさと」としてこの阿蘇をこよなく愛し続けてきました。会員の皆さまが日頃から取り組まれている文化活動は、文化意識を高めるだけでなく、温かい心の触れ合いと豊かな人間性を育み、活き活きとした人づくり・地域づくりにつながるものであると思っています。

阿蘇市としても、郷土の文化を大切に尊い遺産や伝統を守り、さらに充実したものを次世代に引き渡すことができるよう取り組んで参ります。会員の皆さま方のご支援とお力添えを引き続きお願い申し上げます。

結びに、本年も会員の皆さま方の文化芸術活動が大きく前進し、新たな文化の創造が実現されますことを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



阿蘇市文化協会
会長 小嶋 維男

昨年にも全国的には自然災害の多い年でした。暑かった！酷暑の中、復旧工事に尽力されている皆様にご心より感謝申し上げます。

四月の阿蘇医療センター・甲斐豊院長の文化講演会でスタートした阿蘇市文化協会ポトムアップを基軸とした事

初春のお慶びを
申し上げます

業運営が一段と浸透し、会員それぞれが「自分たちの会である」という意識を強く感じました。

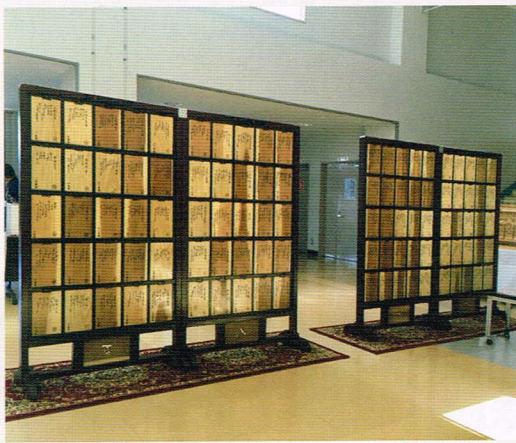
今年度は新たに、展示部門では「アトリエだんだん」の中尾和弘氏の絵画、畠中今朝則氏の木彫刻「百人一首」、波野「阿蘇青々窯」の戸田勲氏の陶芸、ステージ部門では「シンデレラ・バレエ・スポーツ」による洋舞(バレエ)他色々と趣向を凝らした演出も試み好評でした。

福祉部門では「あそん里」から参加希望があり創作意欲

の強さを感じました。市内小中学校生の作品にも素晴らしい感性の豊かさに驚きました。九月の阿蘇観月茶会を皮切りに十月の図書祭り、十一月の文化祭、子ども芸術祭まさに芸術文化の秋、今年も今から楽しみます。

昨年は久々に文化祭会場でアンケートのお願いをし、その分析も意見交換会で討議頂きました。本年も熊本県立劇場、竹田市や県内市町村文化協会と連携をとりながら会員の皆様の文化創作活動をしつかり支え、心の復興文化の薫り高い阿蘇市実現に向け邁進してまいります。最後になりましたが、市教育委員会をはじめご支援ご協力いただきありがとうございます皆様にお礼申し上げます。新年の挨拶とします。

畠中 今朝則氏 製作 木版画で百人一首



文化協会は百人一首の木版画を文化祭において特別展示いたしました。

百首（読み札100枚、取り札100枚）は屏風形式に製作されており、製作者の畠中今朝則氏は木彫部門の会員でしたがご高齢のため現在は退会されております。阿蘇医療センターには阿蘇神社の楼門の木彫作品が寄贈されておりご覧になった方もおられると思います。

今年度も阿蘇市文化

阿蘇中央高校
書道部顧問 荒巻 雅代



アトラクション

第十二回阿蘇市文化祭を十一月三日・四日の二日間、阿蘇市体育館にて開催いたしました。

文化で 繋ごう

阿蘇の絆

第12回阿蘇市文化祭

ステージ部門



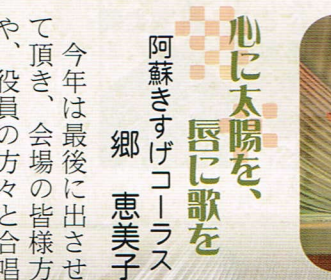
シンデレラバレエスポット 保護者代表 古川 陽子

第十二回阿蘇市文化祭に参加(出演)させていただき、ありがとうございました。子供達は、大舞台を前にドキドキもしましたが、会場にいらつしやる大勢の方々から拍手をいただき、とても喜んでいました。練習の成果が見えて、とても有意義でした。



3B体操 高橋ふじみ

3B体操は、用具を使って誰でもできる楽しい体操です。今回初めて文化祭に出演させて頂きありがとうございます。和気あいあいと身体を動かす楽しい教室で、貴方も3B体操を始めませんか。微力ながら健康づくりのお手伝いが出来ればと思っております。



太極柔力球 山内ひで子

太極柔力球は月二回先生の指導で練習に励んでいます。平成三十年十月太極柔力球(T.J)大会が阿蘇で開催され、中国の講師を招いての講習並びに発表会でした。私達は復興支援として大阿蘇音頭を披露しました。文化祭に於いても大阿蘇音頭と中国の先生に昨年講習を受けた一路歌唱を披露。難しい演技にチャレンジして踊りました。

心に太陽を、唇に歌を

阿蘇きすげコーラス 郷 恵美子

今年度は最後に下させて頂き、会場の皆様方や、役員の方々と合唱

展示部門

押し花迫 あつみ

お花には古より「花の命は短くて・・・」という言葉があります。そんな儚いお花に向き合い、今年も押し花アートとして、一人一人の感性としての花絵顔、花暦等々の展示をする事ができました。それぞれ分野を一同にして、年に一度の発表の場「文化祭」今後その一隅になればと思います。



会を誠にありがとうございました。揮毫後、多くの方々に暖かいお言葉をかけていただき、生徒たちも感激しております。私たちが書道部の成長の姿を通じて、皆様方に元気になっていただくことが、何よりの地域貢献であるという思いで、これからも精進して参ります。



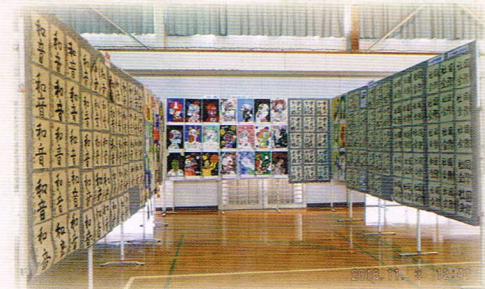
今年、阿蘇も大変暑いなか、学習の場も苦勞が多かったですが、講師の先生の良き指導のもとに、成果発表につながることができました。関係された皆様に深く感謝申し上げます。

はなみすきキルトの会 志賀みち子



坂梨切り絵教室生一同
切り絵の会が発足して二十九年になります。毎年文化祭に向けて、どのような作品を出品するかを考えるのが楽しみであり、一枚の切り絵が完成した時の気持ちは充実感を味わうことが出来ます。教室は月二回ですが和やかな雰囲気です。

喜ばしい事でした。年齢や上手下手に関係なく全員で心を合わせて歌うことの素晴らしさは、本当に心地良い事だとしみじみと感じた次第です。一年間の練習の集大成として、文化祭での発表の場がある事は大変有難い事だと感謝しております。



全国二科会会員 ～市原哲夫～



全国二科会写真部へ二十数年前に準会員として入会し、数多くの入選等又、特選に伴う賞を二度いただき、今回ポイントを得て平成三十年七月に正会員となり九月には東京まで授賞式へ行ってきました。このような賞を受けることができたのは、どこへでも一緒に歩んできた妻のおかげだと思っています。

百歳の文化協会会員



革工芸の山部チモトさんは平成二十七年二月の熊日新聞に革工芸作家として紹介された時が九十七歳でした。現在も文化協会会員として平成三十年の第十二回文化祭に革工芸作品を出展されています。九十七歳の時に百歳は通過点だと話しておられます。益々お元気で活躍を。

熊日新聞の読者文芸欄から阿蘇市の方々の作品を紹介します。

【短歌】

古い母の口元につくめしつぶをつまみて食べて笑い合うなり

(岩下玲子)

花も人も小鳥も虫もめいめいにのちの占める位置の確かさ

(井澤浩二)

【狂句】

ぐうの音もでん子から説教されおらす

(飛田幸治)

【川柳】

これからも越える山河のありそうな

(松本あきら)

母さんは死なぬ人だと思っていた

(金子てるみ)

ほしいのは木陰の下の椅子ふたつ

(松本あきら)

【俳句】

餌を撒けば友達つれて雀の子

(八木ケサエ)

平成30年度 文化協会役員研修&一般研修

TVのCMでも放送されておりました『ザ・ニュースペーパー』のコントを観に行くことになりました。

- 期 日 平成31年2月16日(土) 開場 13:00 開演 13:30
- 場 所 くまもと森都心プラザ 5Fプラザホール
- 参加費 5,000円(弁当、お茶付き)
- 募集定員 45名(定員になり次第に締め切りです)
- 申込み先 所属部門の理事経由で事務局へ(H31.1.30迄)に申し込んでください。
- 集合場所 ① 宮地(運動公園 AM 10:20)
② 黒川(道の駅 AM 10:40)
③ 内牧(体育館 AM 11:00)

会員募集



阿蘇市文化協会では、平成30年度会員を募集しています。いつでも誰でもお気軽に多数の入会をお待ちしています。お気軽にお問い合わせください。

〔連絡先〕
阿蘇市文化協会事務局 ☎0967-32-3218(小嶋)